

三重中央消防指令センター共同運用開始

～その一報、その声が、命をつなぐ!～



119番通報を受信する指令員

三重中央消防指令センター Mie Central Fire Command Center

◆共同運用の経緯

消防指令センターは、119番通報を24時間・365日受け付けて、迅速かつ的確に出動指令を行う拠点です。

近年の災害は、複雑・多様化し、大規模災害時には、広域的な対応を求められることもあります。また、最新のシステムや設備を備えた消防指令センターの整備には、多額の費用が必要です。これらの課題を改善するための方法が、隣接市との消防指令センターの共同運用です。

このような経緯から、鈴鹿市・津市・亀山市の3市は、消防通信指令業務を共同で行う「三重中央消防指令センター」の運用を4月から開始します。

◆センターの運用開始と場所



正式運用: 令和8年4月1日
(仮運用開始: 令和7年11月5日)
場所: 津市久居明神町2276
(津市消防本部内)

◆3市の概要・消防体制など(令和7年12月末現在)

	鈴鹿市	津市	亀山市
人口	19万人	27万人	5万人
面積	195km ²	711km ²	191km ²
消防職員数	218人	356人	81人
消防署・所	2署5分署	4署8分署 1分遣所	1署2分署
通報件数 (令和7年速報値)	14,695件	24,439件	4,238件

共同運用の119番通報を受けてから出動するまで

01 通報受付

119番通報を受信します。



02 災害種別・地点の決定

通報の内容から、火災・救急・救助といった災害種別を決定し、災害地点を特定します。



04 出動指令

署所や出動車両に出動指令を行います。



03 出動隊編成

災害に最適な部隊を編成し、迅速に出動指令を行います。



市内での災害対応は、今までどおり鈴鹿市消防本部の部隊が出動します。



指令員からのお願い

鈴鹿市・津市・亀山市の119番通報を全て受けています。その中で、同じ読み方をする地名があります。出動場所を間違えないためにも、通報時は必ず「**鈴鹿市**△△町…」と市名から伝えていただくようにお願いします。

共同運用で期待されるメリット

災害対応能力の向上

3市の災害情報が一元管理されることにより、必要に応じて、他市からの応援出動を指令センターから直接行えます。

職員の効率的な運用

鈴鹿市単独で運用する場合に比べて、指令員を6人削減できます。これにより、他の部署の人員を増やすことができ、消防力が強化されます。

整備費用の削減

指令システムの整備には高額な費用がかかります。3市が共同で整備することで、1市あたりの整備費用が削減できます。



情報を的確に把握するために!

指令センターでは、映像や位置情報を活用して、状況を的確に把握し、迅速で最適な出動指令を行います。そのためのさまざまな機器や仕組みを紹介します。

指令台

119番通報の受け付けから災害現場を特定し、出動車両の編成、出動指令までの指令管制業務を行うための操作台です。全部で6台の指令台を運用しています。

大規模災害時など通報が集中したときは、モード切替を行い、1台の指令台を2分割して、最大12台での災害対応が可能になります。多くの災害事案を同時に処理できる体制を確保しています。



Live119



緊急通報時の音声・映像を、通報現場と指令センターで共有する映像通報システムです。指令センターから通報者へ救命処置などの映像を送信することもできます。

NET119



障がいなどにより音声通話が困難な方でも119番通報ができるシステムです。通報後は、指令センターとチャットで詳しい状況を確認することができます。

三者間同時通訳

日本語を話せない方からの119番通報や災害現場などで、電話通訳センターを介して24時間・365日主要な言語でコミュニケーションを図ります。

119番通報時



Googleマップ連携

Googleマップと連携することで、平面の地図だけでなく、建物の色や形、付近の様子など、出動指令を出す場所を立体的に確認できるようになりました。





より迅速な応援受援が可能に!

これまで、3市の隣接付近で発生した災害に対して応援受援を行う場合は、各市の指令センター間で電話やファクスなどにより出動要請を行ってきました。

今後は、3市の災害情報が一元管理されることから、より迅速に応援受援体制を構築できます。隣接する一部の区域において、管轄の部隊が出動できない場合など、必要に応じて3市の部隊間で迅速に応援受援を行います。



▲津市との連携



▲亀山市との連携



こんなときはどうすれば



Q 通報のとき住所がわからなかったら?

A 消防車や救急車が向かう住所が分からない場合、目標となる近くの大きな建物やお店、付近の住宅の表札に書かれている名前や住所などを教えてください。

Q 間違えて119番通報をしたら?

A すぐ電話を切らずに、「間違えました」と伝えてください。切断してしまった場合は、消防指令センターからの呼び返しに応じてください。呼び返しに回答がない場合、消防車や救急車が向かう場合があります。



鈴鹿市・津市・亀山市の地域別災害情報や消防指令センターに関する情報などを掲載していますので、ぜひご覧ください。



三重中央
消防指令センター
ウェブサイト



鈴鹿市消防本部
ウェブサイト

この度、鈴鹿市消防本部は津市・亀山市の消防本部と3市共同で「三重中央消防指令センター」を運用することになりました。この実現にあたっては、3市間の綿密な調整と多大な努力が必要でしたが、市民の皆さんの安心のため、一丸となって取り組んできました。皆さんの「もしも」の時に、より迅速かつ的確に対応ができるよう3市の指令員が一致団結して取り組んでまいります。

これからも、市民の皆さんが安心して暮らせるように、精一杯務めてまいりますので、今後とも消防行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



三重中央消防指令センター
副センター長 兼 情報指令課長

むらた のぶひこ
村田 暢彦

今回の特集に関するご意見・ご感想は
消防総務課 ☎ 382-9162 ☎ 383-1447 ✉ shobosomu@city.suzuka.lg.jp